

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 3年10月1日

| | | | |
|--|--|------------------|------------|
| 設置・運営主体 | 上尾市 | | |
| 設置主体 | 上尾市 | | |
| 経営主体 | 上尾市 | | |
| 事業所名 (施設名) | 上尾市立大谷保育所 | 種別 | 保育所 |
| 所在地 | 〒 362-0043 埼玉県上尾市西宮下4-380-3 | | |
| 電話 | 048-775-2550 | | |
| FAX | 048-775-5877 | | |
| Email | s174100@city.ageo.lg.jp | | |
| URL | | | |
| 施設長氏名 | 熊坂 恵子 | | |
| 調査対応担当者 | 熊坂 恵子 | (所属、職名：大谷保育所、所長) | |
| 利用定員 | 90名 | 開設年 | 昭和 49年4月1日 |
| 理念・基本方針 | | | |
| <p>理念</p> <p>①すべての児童が心身ともに健やかに育成されるよう努める。 ②すべての児童が生活をひとしく保障し愛護する。 ③保護者とともに、すべての児童を心身ともに健やかに育成する。</p> <p>基本方針</p> <p>①乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であり、人として生きる力を養う。 ②子どもが健康、安全で、情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することにより、健全な心身の発達を図る。 ③養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 ④保護者と密接な関係を取り、保育の内容等が保護者の理解と協力が得られるよう努め、子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視した保護者支援を行う。 ⑤地域における子育て支援のために、乳幼児期などの保育に関する相談に応じ、助言するなどの社会的役割を果たす。</p> | | | |
| 開所時間 (通所施設のみ) | 平日7:00~19:00 土曜日7:00~18:00 | | |

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

| | 定員 | 利用児童数 | クラス数 | 1クラスあたり 平均児童数 | 1クラスあたり 平均保育士数 |
|-----|----|-------|------|------------------|-------------------|
| 0歳児 | 6 | 6 | 1 | | |
| 1歳児 | 10 | 15 | 1 | | |
| 2歳児 | 12 | 18 | 1 | | |
| 3歳児 | 18 | 19 | 1 | | |
| 4歳児 | 22 | 20 | 1 | | |
| 5歳児 | 22 | 21 | 1 | | |
| 計 | 90 | 99 | 6 | — | — |

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

| | | | | | |
|--|---------|-----|---------|-------|---------|
| 常勤職員数 | | 21人 | | | |
| うち | 保育士 | 18人 | 保健師・看護師 | 1人 | |
| | 栄養士・調理員 | 2人 | その他（ | ）人 | |
| 非常勤職員数 | | 7人 | （常勤換算 | 3.6人） | |
| うち | 保育士 | 4人 | （常勤換算 | 1.9人） | |
| | 保健師・看護師 | 人 | （常勤換算 | 人） | |
| | 栄養士・調理員 | 2人 | （常勤換算 | 1.2人） | |
| | その他（ | 事務員 | ） | 1人 | （常勤換算 |
| （注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。 | | | | | |
| （2）前年度採用・退職の状況 | 採用 | 常勤： | 2人 | 非常勤： | 2人 |
| | 退職 | 常勤： | 0人 | 非常勤： | 2人 |
| （3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 | | | 41,1 | 歳 | （40,7歳） |
| （4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 | | | 11,9 | 年 | （11,2年） |
| （注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。 | | | | | |

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

| | | |
|--------------------|-----------------------|---|
| (1) 建物面積 (保育所分) | 598.49 m ² | |
| | 児童1人あたり | 6.65 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員) |
| (2) 園庭面積 | 327.1 m ² | |
| | 児童1人あたり | 3.63 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員) |
| (3) 耐火・耐震構造 | 耐火 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ |
| | 耐震 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ |
| (4) 建築(含大改築)年 | 昭和 | 49年 |

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・毎日の送迎時に挨拶や声かけを行い、保護者の質問や意見に対応している。
- ・個人の連絡ノートで子どもの様子とともに、意見や要望にも丁寧に対応している。
- ・懇談会、個別面談を実施し、保護者からの意見や感想を聞いている。
- ・行事後にアンケートを行い、意見や感想を職員で共有し、改善出来ることは取り入れている。
- ・保護者会からの要望を受けている。
- ・意見箱を設置している。
- ・苦情第三者委員制度を取り入れている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・職員間の連携を密にしてクラス間の協力を深め、配慮の必要なケースには園全体で対応出来るよう、取り組んでいる。
- ・安全、安心の保育を行うため、食物アレルギー対応やエピペン講習、衛生や感染症対応など自主研修を行い、意識を高めている。
- ・戸外遊びや散歩を多く取り入れ、身体の発達を促したり、自然に触れ楽しむ保育を行っている。
- ・近隣の小学校や地域とのつながりを大切にしている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

1 回 (平成 29 年度)